

白岡市指定文化財一覧表

番号	種類	名称	所在地	特徴
①	県記念物	(史) 一里塚	下野田	日光御成道に沿って設けられたもの。東西両塚が貴重なものである。
②	県有形文化財	(彫) 木造阿弥陀如来立像	白岡	興善寺に安置されている、裸形着装像で、関東に残る裸形着装像の代表的な佳品と位置付けられるものである。
1	市無形民俗文化財	小久喜の獅子舞	小久喜	「龍獅子」「泣きザサラ」の異名のおり舞を奉納すると必ず雨が降るといわれている。現在は隔年の4月第2日曜日に奉納されている。
2	市有形民俗文化財	篠津天王様の山車・上宿耕地	篠津	安政年間に製作されたもので、山車彫刻は立川音芳等によるもの、色彩は田崎早雲兄弟等の手によるものと伝えられている山車である。
3	市有形民俗文化財	篠津天王様の山車・横宿耕地	篠津	安政年間の作で、銀杏材を用いた山車彫刻には極彩色が施された山車である。
4	市有形民俗文化財	篠津天王様の山車・宿耕地	篠津	極彩色の鬼板と懸魚は、大きさ、出来栄とも秀逸な山車である。
5	市有形民俗文化財	篠津天王様の山車・下宿耕地	篠津	ケヤキ材を用いた鬼板と懸魚がその重厚さを増した山車である。
6	市有形民俗文化財	篠津天王様の山車・神山耕地	篠津	鬼板は、唐破風屋根に添う大きなもので、木目の浮き立つ白木の肌が美しい山車である。
7	市有形文化財	(建) 篠津久伊豆神社本社殿	篠津	総ヒノキ権現造で、立川音芳の手による彫刻が施されている。
8	市記念物	(天) 白岡八幡宮のカヤ	白岡	白岡八幡宮にある樹齢500年と推定されるカヤである。
12	市有形文化財	(書) 山岡鉄太郎墨跡	高岩	高岩天満神社ののぼりの下書きで、「治理逢熙運」「欽明仰聖皇」と書かれている。
13	市有形文化財	(歴) 正福院の宝篋印塔	白岡	正福院にあり、江戸時代中期の宝篋印塔として、規模、保存状態とも優れている。
14	市有形文化財	(歴) 鬼窪八幡宮鰐口	白岡	白岡八幡宮に伝わる鰐口である。
15	市記念物	(史) 正福院貝塚	白岡	正福院の墓地周辺に展開する地点貝塚群でヤマトシジミ、ハイガイ等を中心とする。
16	市有形文化財	(絵) 紙本着色新井白石画像	野牛	観福寺に伝わり、白石5世の孫新井成美が作成した3幅の内の1幅である。
17	市有形文化財	(彫) 木造薬師如来坐像	太田新井	安楽寺の薬師堂に安置され、「応仁2年祐榮法印」筆の銘を持つ。
18	市有形文化財	(歴) 阿弥陀三尊種子板石塔婆	実ヶ谷	実ヶ谷にある中世の供養塔である。「正応2年(1289)」の銘を持つ。
22	市有形文化財	(彫) 円空作薬師如来坐像	実ヶ谷	実ヶ谷の薬師堂に伝わる薬師如来坐像である。
23	市有形文化財	(彫) 円空作菩薩形坐像	太田新井	安楽寺に伝わる菩薩形坐像である。
24	市有形文化財	(彫) 円空作観音菩薩立像	西	元荒川の茅野の渡しを差配した民家に伝わる観音菩薩立像である。
26	市有形文化財	(書) 興善寺朱印状	白岡	興善寺に伝わる。初見は天正19年徳川家康が当寺に白岡郷の15石を寄進したものである。
27	市有形文化財	(建) 忠恩寺山門	高岩	忠恩寺の仁王門にあたるものと思われる。かつては茅葺であったが、現在は入母屋造、瓦葺きとなっている。
28	市有形文化財	(歴) 忠恩寺十三仏	高岩	忠恩寺にある安永8年の銘を持つ舟形の石塔である。
29	市有形文化財	(書) 忠恩寺文書	高岩	忠恩寺に伝わり、初見は慶安2年に徳川家光が当寺に30石を寄進したものである。
31	市無形民俗文化財	岡泉鷲神社の神楽	岡泉	毎年7月23日、岡泉鷲神社の祭礼に奉納される。
32	市無形民俗文化財	岡泉大尽囃子	岡泉	毎年7月14日、岡泉鷲神社の境内社である八雲神社の祭礼と、7月23日の岡泉鷲神社の祭礼で奉納される。
33	市有形民俗文化財	岡泉の百庚申	岡泉	岡泉観音堂の周囲を取り囲むように「庚申」と刻まれた駒形角柱が奉納されている。
34	市有形民俗文化財	柴山諏訪八幡神社の奉納絵馬	柴山	柴山諏訪八幡神社の奉納絵馬で、初見は弘化元年の「酒吞童子」である。

35	市有形民俗文化財		下大崎住吉神社の奉納絵馬	下大崎	下大崎住吉神社の奉納絵馬で、初見は元文4年の「釣舟」である。
36	市有形文化財	(書)	鬼久保家文書	小久喜	小久喜の名主を務めた鬼久保家に伝わり、寛永5年の検地帳を初見とし、近世文書2,480点、近代文書1,029点、典籍139点からなる。
37	市有形文化財	(彫)	木造大日如来坐像	上野田	元弘の乱に伴って焼き討ちにあった際、本像の頭部と両手先を持ち出し、近くの沼に伏せおき、後に再建したという伝承を持つ。
39	市有形文化財	(彫)	木造達磨大師像	白岡	興善寺に伝わる寄木造りで、玉眼を嵌入している。
40	市有形文化財	(歴)	白岡八幡宮棟札	白岡	白岡八幡宮に伝わり、初見は元禄7年のものである。
42	市有形文化財	(歴)	荒井新田の高札	荒井新田	荒井新田の名主を務めた江原家に伝えられてもので、初見は天和2年「切支丹宗門禁制の定」である。
44	市記念物	(天)	岡泉鷲神社の大ケヤキ	岡泉	岡泉鷲神社境内にある2本のケヤキの大木である。
45	市有形民俗文化財		庚申待供養塔	岡泉	岡泉観音堂にある唐破風付角柱の庚申待供養塔である。
46	市記念物	(天)	爪田ケ谷諏訪神社の大スギ	爪田ケ谷	爪田ケ谷諏訪神社境内にあるスギの大木である。
47	市有形民俗文化財		岡泉天王様の山車	岡泉	岡泉天王様の山車は、明治時代初期に原市の向山(現上尾市)で造られたと伝えられている。
48	市有形民俗文化財		牛頭天王祭礼用具一式 付収納箱	白岡	毎年7月14日に、新田の天王様の祭礼で村廻りに使われる祭礼用具である。
49	市有形民俗文化財		篠津天王様の神輿	篠津	篠津の須賀神社に伝えられるもので、篠津天王様の祭礼では、ムラ廻りが行われる。
50	市有形文化財	(歴)	忠恩寺九品仏	高岩	九品仏供養塔によれば延宝6年に高岩村など48か村の寄進によって建立されたことが分かる
51	市有形文化財	(歴)	新井白石奉納扁額付朝鮮通信使李碩筆下書	野牛	新井白石が正徳の朝鮮通信使製述官李碩に下書きさせたものをもとに彫られたものである。
52	市有形文化財	(考)	タタラ山遺跡出土遺物	千駄野	縄文前期集落から出土した縄文土器及びペンダント・耳飾り等の石製装飾品である。ペンダントには鳥などの動物を表現したものが大変珍しい。
53	市有形民俗文化財		白岡八幡宮奉納絵馬群	白岡	近世後期から昭和時代を中心とした資料群で、祭神への信仰の篤さや地域性を象徴している。
54	市有形民俗文化財		高岩天満神社奉納絵馬群	高岩	社寺に対する一般的な信仰のみならず、代参講や伊勢講などの民間信仰、祭神の関係で学問上達を祈願したものなど地域性を象徴した大変貴重な資料群である。
55	市有形文化財	(歴)	興善寺中世石造物群	白岡	興善寺に伝わる中世遺物で、建武年間から天文年間(1334-1533)までの銘文が認められる。
56	市有形文化財	(書)	新井白石自詠詩「贈北客」付附鳳、成美自詠詩	野牛	「贈北客(ほつきやくにおくる)」と題する五言律詩に加え、白石に連なる人々による数編の詩が軸装されたものである。
57	市有形民俗文化財		小久喜の獅子舞 隠居獅子頭及び天狗面	小久喜	3点の獅子頭と天狗面は、江戸後期の作と思われるもので、小久喜の獅子舞の伝来に関する伝承を補完する資料として貴重である。
58	市有形文化財	(歴)	鷹場関係資料群	上野田	幕末のピン打ち式火縄銃(短筒)と、文書に含まれる「手形(二季打鉄炮)」、「餌取札判鑑」、「御鉄炮拝借御請証文之写」の4点からなる資料群である。
59	市有形文化財	(歴)	白岡八幡宮梵鐘	白岡	延宝3年(1675)の銘を持ち、市内に残る銅製梵鐘としては最も古く、奉納者・鋳物師も明確である。八幡宮の梵鐘であることも銘文中にあり、神仏習合の風習を残す。
60	市有形文化財	(建)	庄兵衛堰柵	篠津	篠津、高岩、野牛にまたがって所在する旧庄兵衛堀川流路に残される煉瓦製の堰柵で、明治40年竣工で煉瓦には「上敷免製」の刻印のある日本煉瓦の製品が用いられている。
61	市有形文化財	(彫)	木造阿弥陀如来坐像	篠津	平安時代末期に遡る仏像で、藤原時代後半の院政期頃の定朝様彫刻の特徴をよく表している。

62	市有形文化財	(書)	北条氏繁判物	野牛	野牛村名主大久保家に伝わる中世文書として小田原北条氏が常陸佐竹氏に備えるために発出したものと思われ、数少ない中世文書として貴重である。
63	市有形文化財	(書)	旗本新井家野牛村村政関連文書	野牛	野牛村名主大久保家に伝わる古文書群で、新井白石が野牛村を領有して以降、新井家が野牛村の村政に係る状況がわかる資料として重要である。
64	市有形文化財	(書)	堤土置争論裁許状	柴山	17世紀末の柴山村及び周辺各村との間に起きた水争いの様子やその裁許の事情を記したもので、当時の治水や水利などを知るうえで重要である。
65	市有形文化財	(書)	日川関係文書	岡泉	日川の位置を特定でき、新田開発後の日川新田や周辺の土地の運用等に関する状況のわかる資料群として重要である。

(史)…史跡、(建)…建造物、(絵)…絵画、
(彫)…彫刻、(書)…書跡・典籍・古文書、
(歴)…歴史資料、(天)…天然記念物、(考)…考古資料

9、10、11、21、25、30、38、41、43は指定解除
19、20は21に編入